

		科目コード	102
科目名	地域保健医療特論 (Advanced Study on Regional Health and Welfare)	選択区分	必修
単位数 (時間)	2 単位 (30時間)	履修時期	1 前
担当者	野村 美千江・斉藤 功*		
授業概要	地域保健医療に関する諸外国とわが国の現状と課題を探究し、地域に根ざした保健医療を展開する方法や人々の生活実態に即したケアシステムの構築を探究する。		
授業目標	①疫学研究に基づく疾病予防と健康管理について説明できる。 ②地域保健医療に関する現状と課題についてわが国と諸外国を比較分析できる。 ③地域に根ざした保健医療システムや活動方法について考察できる。		

授業内容とスケジュール

回	項目	内 容	担当者
1	授業ガイダンス	わが国の保健医療行政の動向、課題学習の計画立案	野村美千江
2		わが国の地域に根差したケアシステムの例	
3	世界の保健医療	主要指標、健康課題	
4		医療制度、在宅ケアシステム	
5	疫学研究に基づく疾病予防と健康管理	疾病罹患動向の観察と疾病分布規定要因	斉藤功
6		疾病罹患動向の予測と疾病予防活動の優先順位	
7	地域保健医療に関するわが国の現状分析	諸外国との比較、貧困・健康格差	
8		広域感染症や災害医療保健における地域連携と課題	
9	WHO レポートを読む	予防活動の実際と課題	野村美千江
10		地域ケアシステムの実際と課題	
11	【課題学習】	関心ある健康課題を選び、有病・死亡などの実態、法制度の変遷や予防・管理対策、健康支援方法などについて、文献・既存資料・WEBから収集・分析する	
12~14	【プレゼンテーション・討論】	課題学習をパワポにまとめ、プレゼンする。人々の生活実態に即したケアシステム構築や予防活動への貢献についてディスカッションする。	
15	まとめ	地域保健医療のリーダーとして授業からの学びを語る	
成績評価方法	課題学習 (50%) とプレゼンテーション (50%) で評価する。		
必携あるいは参考図書・文献	必携図書 厚生労働統計協会「国民衛生の動向・厚生指標 2016/2017」 参考図書 ・The Ottawa Charter for Health Promotion (WHO) ・岩永俊博：地域づくり型保健活動の考え方と進め方 (医学書院) ・西村周三監修：地域包括ケアシステム「住み慣れた地域で老いる」社会をめざして (慶應義塾大学出版会) ・菊地武雄：自分たちで生命を守った村, 岩波書店 (岩波新書) ・稲葉峯雄：草の根に生きる～愛媛の農村からの報告, 岩波書店 (岩波新書)		
備 考			